

TERAOKA 東京ショールームで地域の小学校へ環境授業を行いました

～小学 4 年生がスーパーマーケットで使われている製品を体験！～

株式会社寺岡精工（本社：東京都大田区/代表取締役社長 山本宏輔）は、10 月 28 日（火）に、品川区立芳水小学校の 4 年生児童約 130 名を TERAOKA 東京ショールーム（東京都品川区）にお招きし、環境に関する授業を行いました。当社の流通小売向け製品の中から「ペットボトル減容回収機」、「量り売り」、「MAP 包装機※」の 3 つのソリューションについて、どのように地球環境の保全へつながるのか当社社員が説明しました。



環境授業の様子（量り売り／MAP 包装機）

品川区立芳水小学校は、スーパーマーケットなど流通小売向けの製品を展示する TERAOKA 東京ショールームの向かい側に位置します。今回の授業では、4 年生の児童のみなさんをお招きし、小売店の現場で使用されている下記のソリューションについて、説明・体験を行いました。

- ・ ペットボトル減容回収機「ボトルスカッシュ」

ペットボトルを適正に回収することで、海洋プラスチックの発生を防ぎ、新たにボトルやトレイへと生まれ変わります。ご家庭からボトルを持参いただき、リサイクル体験も行いました。

- ・ セルフ量り売りスケール「SM-6000AI」ほか

野菜などを必要なだけ量り売りすることで、プラスチック包装を削減し、規格外野菜のロスや、食べきれない食品ロスを防ぎます。野菜のセルフ計量とバーコードラベル発行も体験しました。

- ・ 一体型 MAP トレーシーラー「LX-5600」

MAP 包装で食品の新鮮さを保ち、消費期限を延長することにより、店舗や家庭での食品ロスを減らします。児童のみなさんがトレイを置き、計量・MAP 包装・値付が自動で行われる様子を体験しました。

※ガス置換包装（Modified Atmosphere Packaging）。食品トレイ内の空気を窒素や二酸化炭素などの食品の保存に適した気体に置き換えて包装する技術。



体験の様子（ペットボトル減容回収機／量り売り）

環境への影響はもちろん、商用秤は地球の重力加速度に影響されるため使用地域が決まっていることや、MAP 包装で窒素や二酸化炭素が果たす役割など、専門的なお話もさせていただきました。児童のみなさんは興味深く話を聞き、積極的に製品を体験されていました。

当社は、今後も地域に根差した会社づくりを行うとともに、さまざまな事業および製品において、多角的なアプローチで持続可能な社会実現に向けた取り組みをサポートしてまいります。

■ 関連製品・ソリューション

ペットボトル減容回収機「ボトルスカッシュ」ブランドサイト

<https://www.teraokaseiko.com/jp/l/drv/>

セルフ量り売りソリューション

<https://www.teraokaseiko.com/jp/solutions/SOL00065/>

一体型 MAP トレーシーラー「LX-5600」

<https://www.teraokaseiko.com/jp/products/lp/lx5600/>

【株式会社寺岡精工 会社概要】

- 本社所在地：東京都大田区久が原 5-13-12
- 創業：1925 年（寺岡式敏感自動バネ秤開発）
- 代表者：代表取締役会長 寺岡和治、代表取締役社長 山本宏輔
- 資本金：1 億円
- 従業員数：連結 3,919 名（2024 年度）
- 主な事業：流通小売、食品製造・加工、ロジスティクス、飲食・専門店の 4 事業分野
およびサポートサービス、クラウドサービスにおける精密機器等の開発・製造・販売・保守
- 国内営業・サービス拠点：約 130 拠点
- HP URL：<https://www.teraokaseiko.com/>



since 1925

掲載画像ダウンロード URL：<https://shurl.jp/1QMP>（有効期間：11 月 19 日～12 月 18 日）

■ 本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社寺岡精工 グローバルマーケティングコミュニケーションズ 上山・鈴木

TEL: 03-3752-5510 FAX: 03-3752-5562 Mail: pr-teraoka@jp.digi-group.com

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社寺岡精工 お客様窓口 TEL: 0120-37-5270（平日 9:30-17:30）